

おしゃべり通信

No. 232 H31.3.15 発行 如春会 浦田医院

～H29年4月発行 日本小児科医会会報特集～



スマホパンデミック! ⑨

＜スマホ社会の落とし穴＞



2. 「劣化」の実相 ③

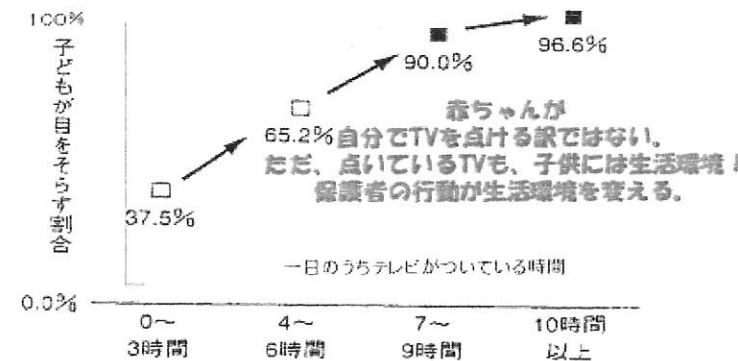
(2) 親子の愛着形成・人格形成のゆがみ

子育て世代のスマホやタブレットの所有率は2013年10月63%、2017年94%と急速な普及を見ており、子供を見つめている時間より、これら電子画面を見ている時間が多くなっていることが観察されています。

授乳中にテレビがついている人のうち

子どもが目をそらす割合は?

(自閉傾向の特徴といわれているが...)



TVを見る人もないのに長時間つけっぱにしている家庭で育てられている乳幼児の「目を合わせると自分から目をそらす」比率は以下の通りですが、この哺乳しながらTVが「哺乳しながらメール」に代わり今や「哺乳しながらスマホ」となり、その使用時間も1.3倍、食事の時にもスマホが手から離せなくなっている人が増えてしまいました。以下の調査の女子高生は、近未来の「ママ」なのですが・・・

2013年調査(日本):ながらスマホの実態

	所有率 (%)	使用時間 時間	食事中に使用する頻度 (%)
中学生	—	1.8	—
高校男子	86.6	4.8	4
高校女子	95.1	6.4	38

先に述べたようにスマホやタブレットは「子育てアプリ」と称する、乳幼児用アプリも搭載しており、所謂ガラケーと違い乳幼児でも能動的に関わることができる為に、子供にも依存症を成立させますが、保護者がこのことに気が付いていないと、脳細胞は間違った方向へ発達を始めないでしょうか?

一番困ったことは、保護者との間にどの位強い「愛着＝無条件の信頼」が育つだろうか?です。これはヒトがヒト社会で生きていくための基本で、互いを信頼しあって社会の一員となっていく一歩なのですが、電子メディア機器が存在する為に何かしらの妨げになってはいないでしょうか?

(以下次号)

(平成29年7月 S.URATA MD.)



子どもの事故と対策～子どもを事故から守ろう～ 「こんなもので窒息が!!」

①窒息を起こしやすいもの

《食品》ピーナッツなどの豆類、飴、ポップコーン、
こんにやく(こんにやくゼリー)など
《雑貨》ビニール袋、電気コード、柔らかい布団、硬貨など

②お家での注意

- ・ やわらかい寝具、重たい掛け布団は使わないように
- ・ ミルクを吐きやすいお子さんは、横向きに寝かせましょう
- ・ 顔にガーゼやタオルがかからないように
- ・ ビニール袋で遊ばせない
- ・ ブラインドなどの紐は高い位置でくくりましょう
- ・ 電気コードは使わないときは片付けて、子どもの手の届かないところにしまいましょう
- ・ 4歳未満(臼歯が生える前)には噛み砕かないといけない食

ンドなど)噛み砕かないといけない食品は与えないようにしましょう。

- ・ 飴玉やキャラメルなども同様です。
- ・ おもちゃが散乱しないよう、整理整頓に気を配りましょう
- ・ 口に入る小さなものや硬貨で遊ばせないようにしましょう

③ もしも詰まったら!

口の中に見えるものは横仰位で指で掻き出しますが、のどの奥におしこまないようにしましょう。息がしにくそうなときは膝の上うつ伏せに抱いて、①肩甲骨の間を叩いて吐き出させます。②逆さにしてもよいです。

3歳以上では、子どもの背中側から両手を回しみぞおちの前で両手を組んで、勢いよく子どもの脇腹を圧排して喀出させる方法③(ハイムリッヒ法)を用います。

意識がない場合には③は禁忌です。意識がないときは、背部叩打法か仰臥位に寝かせてみぞおち部を両手拳で上方に押す方法を行います。

①(乳児)背部叩打法 ②背部叩打法変法 ③ハイムリッヒ法



④呼吸が止まっていたら!

直ちに心肺蘇生をしながら、救急隊を要請しましょう。

参考:改訂4版 子どもの事故と対策—子どもを事故から守ろう—
文責:管理栄養士 金樫

“子ども・若者とメディアを考える会”

期日:平成31年4月19日(金)19:00～

場所:五名郡市医師会館3階大ホール

内容:「自分のために脳機能を育てましょう」

～ある事がうまくできるようになる ということはその様に脳が形成されていくから～

講師:浦田医院 浦田章子先生